

平成 27 年度 第 3 回北杜市総合計画審議会
会 議 録

北杜市企画部企画課

第3回北杜市総合計画審議会 会議録

- 1 会議名 第3回北杜市総合計画審議会
- 2 開催日時 平成28年3月24日(木) 午後2時00分～3時50分
- 3 開催場所 北杜市役所 北館3階大会議室
- 4 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 会長あいさつ
 - (3) 市長あいさつ
 - (4) 諮問
 - (5) 審議
 - ①第2次北杜市総合計画基本構想(案)について
 - ②その他
 - (6) 閉会
- 5 出席者
 - (1) 出席委員
秋山九一、栗澤和江、岩間勇樹、菊見美房、輿水順彦、齊藤けさ子、坂本榮富、櫻井八州彦、清水真理子、清水美佐、鈴木今朝和、入戸野一明、馬場君忠、日向勝、日野水丈士、船木良、溝口暁美、宮澤陽子、矢野望、山田輝夫
 - (2) 欠席委員
小川昭二、輿水哲男、茅野光一郎、日向三郎
 - (3) 事務局
菊原企画部長、小松企画課長、企画担当 白倉、土屋
 - (4) 北杜市
市長、教育長、企画部長、総務部長、市民部長、福祉部長、生活環境部長、産業観光部長、建設部長、議会事務局長、教育部長、監査委員事務局長、農業委員会事務局長、会計管理者、明野総合支所長、須玉総合支所長、高根総合支所長、長坂総合支所長、大泉総合支所長、小淵沢総合支所長、白州総合支所長、武川総合支所長、産業観光部次長、政策秘書課長、財政課長

6. 公開・非公開の別 公開

7. 傍聴人の数 2名

8. 議事録署名人：菊見美房、輿水順彦

会 議

1 開会（事務局 小松企画課長）

2 会長あいさつ

3 市長あいさつ

4 諮問 白倉市長諮問書を朗読

5 議事

これより、北杜市総合計画審議会条例第7条の規定により、会長が議長となり次のとおり議事を進行する。

■①第2次北杜市総合計画基本構想（案）について

事務局より、「第2次北杜市総合計画に係るまちづくり市民アンケート調査報告書」、「第1次北杜市総合計画ヒアリング結果とアンケート結果の概要」、及び「第2次北杜市総合計画基本構想（案）」について説明がなされた。

【委員】

市長から、「市民の痛みを伴いながらも財政の健全化が進み評価されている」と話があった。

財政が安定しないと市政運営が成立しないことについては理解している。

構想案には「重複する公共施設の整理統合」に関する文言がしばしばでてきているが、一方で「安全・安心のまちづくり」や「郷土愛」という言葉も出てきている。

公共施設や行事、イベントなどが近隣からなくなっても歴史や文化、郷土愛が育つのか疑問を感じる。

例えば、ホールは長坂と高根にしかない。

そのため大きなイベントは長坂か高根で開催されるが、明野の住民、特に高齢者はなかなか行けないのが現状である。

北杜市は旧 8 町村の距離が遠いという特性があり、公共交通が不便という課題もあるなかで、公共施設の統廃合で本当にまちが豊かになるのか。

「財政の健全化」と「安全・安心のまちづくり」、「文化の豊かなまちづくり」は表裏一体なのかもしれないが、どう考えたらよいのか。

P 1 9 に、上下水道事業の公営企業化に関する記載がある。

企業会計が導入されると、基本的には独立採算制となるので国や県からの補助金が減るのではないか。

そうすると、排水管や送水管の維持管理や老朽化への対応などについて、住民の負担が増えることが懸念されるがどのように考えるのか。

【事務局】

地域にとって公共施設が必要であることは理解している。

市が平成 2 5 年度に作成した公共施設白書によると、北杜市民 1 人あたりの公共施設面積は、全国平均の 3 倍と非常に多い状況である。

今後、施設の老朽化とともに人口の減少も進展していくなかで、国からは公共施設の今後の在り方に関する計画の策定が求められており、本市でも公共施設総合管理計画の平成 2 8 年度中の策定を進めている。

試算ではあるが、何もしなければ将来的に公共施設の更新コストが年間 3 8 億円となる。

現在は 9 億円なので、約 4 倍にまで増える見込みである。

市の財政状況を考えると、策定した計画に基づき、施設の統廃合を進めざるを得ない。

ただし、地域の実情を考慮するとともに、統廃合の方向性については住民のコンセンサスを得ながら進めていく方針である。

上下水道については、平成 3 2 年 4 月に公営企業へ移行する予定である。

総務省の指示により全国的に動いており、本市でも昨年からは簡易水道運営委員会や下水道審議会などで審議を始めたところである。

公営企業になれば原則独立採算制となる。

今は、上下水道とも特別会計であるが、一般会計からの繰り入れに依存しているのが実情である。

今後、独立採算だから使用料金を上げるということではない。

今、4 つの上下水道センターの段階的な統合や下水道処理場の統合など、平成 3 2 年 4 月のスタートに向けていろいろな方法を検討しているところである。

また、料金に関しても、慎重に対応していく方針である。

【委員】

公共施設、水道に関する説明はよくわかるが、北杜市の特殊な地形（面積が広大）を考慮すべきである。

国の要請があるからというだけでなく、市の職員は地域住民にとってどうかという視点で考えてほしい。

面積当たりだけで捉えるのではなく、北杜市の広大な地形、一方で公共交通が不便であることなどをぜひ考慮してほしい。

旧町村意識が強いとあるが、一体感の醸成にはやり方があるのではないか。

旧8町村の民生委員がこれまでは個々に活動していたが、相互に交流を始めたところ、よい交流ができるようになってきている。

施設の統合だけでなく、ソフト面での一体感を持てるように考えてほしい。

【事務局】

公共施設に関しては、国の要請だからということではなく、市としても公共施設の統廃合は避けては通れない問題と認識している。

ただし、地域の特性を考えながら検討を進めていく。

市としての一体感については、合併から10年経過するなかで、各団体が工夫することも重要であるが、所属する住民もそのような意識を持って活動することが重要ではないか。

【委員】

市内に進出してきている農業生産法人に関して、市内の住民を雇用してほしいが、募集はほとんどが臨時職員である。

これでは収入面からも、高齢者しか働けないのではないか。

高卒者・大卒者など若者が就職するには収入も大事である。

正社員の雇用に関して、市から法人に対して要請ができないか。

空き家については、市内に倒壊の危険性がある空き家もあるが、壊すと税金負担が増えるために、壊さずそのままにしている人がいる。

何か対策ができないか。

【事務局】

農業生産法人は20社来ているが、問い合わせも数件来ているので、今後も増えていくと見込んでいる。

市内の雇用は新規に250名程度増えているが、そのほとんどがパートなど臨時職員である。

市では、正社員としての雇用についても、お願いしていく。

調査の結果、市内に370棟の特定空き家がある。

本年度は特定空き家対策計画を策定した。

今後は、その空き家が使えるか使えないか分類をしたうえで、所有者への通知や代執行など具体的な活動を進めていく予定である。

税金面についても、今後検討が必要であると考えている。

【会長】

いろいろ意見はあると思うが、基本構想（案）に関する意見をお願いしたい。

【委員】

教育行政に関わってきた立場での意見である。

教育の柱である「原っぱ教育」について、10年間見てきたが、実感が持てない。

アンケート報告書のP26で「原っぱ教育の更なる充実」について触れているが、実際のところ、どこでどのように実施し、どのような効果が出ているのか教えてほしい。

また、どのようなものが「原っぱ教育」に含まれるのか。

教育に携わっていてもわからない点があるので、一般住民はもっと知らないのではないか。

PRが必要であると思う。

【事務局】

「原っぱ教育」に関しては、学校現場での取り組みを中心に各学校の主体性を重視している。

毎年、市内全ての学校で取り組んでいるほか、毎年モデル校を設定し、より目的を明確にした活動を2年間実施し、ほかの学校に広めている。

「原っぱ教育」の目的は①確かな学力の育成、②豊かな心、健やかな身体の育成、③郷土を愛し未来を切り拓く人材育成である。

取り組む内容は地域を知る総合学習や環境美化など様々であるが、各学校の実情に応じた特色が出ている。

「原っぱ教育」と一言で言ってしまうと内容がわかりにくい部分は確かにあるので、周知は必要であると思う。

どのように地域に発信していくのか、今後校長会などを通じて検討していく。

【委員】

P12に「若者の流出防止やUターン増加のために」は「故郷に対する自信と誇りを育む教育が求められ」とあるが、そのほかに、若者の生活拠点となりうる環境の整備も必要ではないか。

特に、働く場所の確保が大切である。

アンケートでも働く場所の確保について要望が多かった。

文言として入れておくべきではないか。

【会長】

農業生産法人20社来ているが、雇用で苦勞しているという話があった。

時給や通勤などの諸条件もあるが、働く場所はあっても職を探す人との間で情報のミスマッチがあるかもしれない。

【事務局】

委員の意見を踏まえ内容の修正を検討する。

今後本部会議で審議し、次回の審議会において報告する。

【委員】

P12の「若者の流出防止やUターン増加」に関して、「移住しようとする人を増やす」視点が欠けているのではないか。

移住促進という視点で修正をお願いしたい。

【会長】

北杜市に移住してきた人の孫が遊びに来た時に、北杜市を「いいところだ」と認識してもらえれば、将来的に本市に移住してくる可能性がある。

「M(まご)ターン」と名付けて北杜市から発信してはどうか。

また、彼らの移住を促進するためには、当地の祭りなどのイベントや商店街の対応など市の魅力をしっかりと情報発信する必要がある。

【委員】

先日の新聞に、北杜市の男性の移住体験談が総務大臣賞に選ばれたという記事が掲載された。

喜ばしいことである。

【会長】

基本構想（案）について、本日の意見を踏まえて整理したうえで、次回審議会
会で再度審議することとする。

■②その他

【事務局】

今後のスケジュールについて、次回の審議会は5月の連休明けを予定してい
る。

本日の意見を整理して、基本構想（案）を再度審議する予定である。

なお、答申は8月を予定している。

4 閉会

以 上

署名委員

署名委員
